

塗ったくり爺さんの底力



趣味で金魚をたくさん飼っています。魚によって浮くエサ、下に沈む沈下性のエサを与えます。フンや汚れを取り除くため水替えをします。水道水はカルキ抜きをしますが、汲み置きするのが面倒になり、直径1メートル、深さ5メートル位の井戸掘りに挑戦しました。「飲水思源」(井戸を掘った人の事を忘れるな)と中国のことわざにあります。井戸掘りは大変でしたが、水が出た瞬間の喜びは忘れられません。

小さな家庭菜園にも水が欠かせません。「水をやり過ぎてはいけない、芽を摘み、いじめると育つ野菜もある」と教わりました。

数学の先生が定年後、農作業に挑戦しました。数学は答えが出るが自然相手の農業は春夏秋冬一年中同じことはありません。自然災害もあり、答えが出なくて難しいが、無限の魅力がいっぱいあります。自然、水、気温次第と挑戦が楽しく、曲がったキュウリも自作は旨いものです。答えが出るまで大変だろうと農業のプロの人達には頭が下がります。

今夏、オリンピックがフランスで開催されました。水は硬水(カルシウムの含有量が多い)と聞きました。日本の柔らかな軟水とは違うようです。お風呂に入る習慣が無かったのか体臭の関係か、香水の発祥の地ともいわれています。金魚には大丈夫なのだろうか、日本の水はきれいで美味しい、ありがたさを感じています。



塗装業

ふなと まなぶ

文： 船戸 學さん(東秋留地区)

表紙のことば

笑顔で元気いっぱい農業者の農業大好き大福さんご一家。
お家はもとも養蚕農家で、ご主人の保男さんが就農した際にハウスを建て野菜栽培を始めました。現在、保男さんはキュウリをメインに栽培しており、奥様の美智江さんが収穫や袋詰め作業を担当し、直売所などへ出荷しています。ご夫妻の楽しみは温泉旅行。なかでも白いお湯が好きで秋田県の乳頭温泉や、岩手県八幡平の藤七温泉がお気に入りです。

長男の哲也さんはトマト、ナス、トウモロコシ、野菜苗を中心に栽培しており、奥様の香奈美さんが事務仕事を担当し家族をサポートしています。

真心を込めて作られた野菜は品質も高く、東京都農業祭では、保男さんがキュウリ、哲也さんはナスで金賞を受賞しています。

お孫さん2人はスポーツが好きで、中学校3年生の春摩さんはバドミントンが得意。笙馬くんは小学校5年生で水泳が得意です。

保男さんは「農業が好きなので、これからも元気で長く続けたい。今年も10月の東京都農業祭で賞が取れるよう親子で頑張りたい」と意気込みを語りました。



大福さんご一家(増戸地区)

後列左から▶

おおふく しゅうま (孫) 大福 笙馬くん (長男) 哲也さん

かなみ はるま (長男の妻) 香奈美さん (孫) 春摩さん

前列左から▶

やすお みちえ (ご本人) 保男さん (妻) 美智江さん